



指揮: ジャン=フランソワ・パイヤール  
Jean-François Paillard, Conductor

室内オーケストラの最高峰——優雅な響き、洗練されたアンサンブル。

# パイヤール室内管弦楽団

Orchestre de Chambre Jean-François Paillard

## —プログラム—

モーツァルト: カッサシオン K.60  
: ピアノ協奏曲 変ホ長調 K.271 「ジュノム」  
(ピアノ: 児玉 桃)

ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」  
(ヴァイオリン: ジェラルール・ジャリ)



ヴァイオリン: ジェラルール・ジャリ  
Gérard Jarry, Violin



ピアノ: 児玉 桃  
Momo Kodama, Piano

'96 10月26日(土)

■開演 19:00  
(開場 18:30)

■入場料 全席指定  
S席 3,800円(当日4,300円)  
A席 1,800円(当日2,300円)  
(3階席)

■お問い合わせ

財団法人 黒部市国際文化センター  
TEL (0765)57-1201

黒部市国際文化センター **コラーレ** 大ホール

### ■プレイガイド

コラーレ・黒部メルシー・ロイヤルバリー黒部・魚津サンプラザ・  
入善コスモ21・朝日アスカ・インフォーマット(市民プラザ・CIC)

主催/財団法人黒部市国際文化センター  
協賛/チューリップテレビ・富山FM放送  
後援/黒部市・黒部市教育委員会・北日本新聞社・  
くろベニミュージックスクエア・黒部で第九を歌う会

- 5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。



# ORCHESTRE DE CHAMBRE JEAN-FRANÇOIS PAILLARD



## ジャン=フランソワ・パイヤール

ジャン=フランソワ・パイヤールは、ノルベール・デュフルクに音楽理論をイーゴル・マルケヴィッチに指揮法を師事するかわら、ヨーロッパの主な音楽図書館を訪ねて、忘れ去られたバロック時代の傑作を数多く発掘した。それらは今、パイヤール室内管弦楽団のレパートリーの中核となっている。また、これらの多くの作品を器楽曲集や宗教曲集として出版もしている。

クセジュ文庫の名著「フランス古典音楽」(白水社刊)をはじめ、多くの音楽理論のエッセイも発表している。音楽の他にもさまざまな分野に造詣が深く、科学の学位を持ち、今も天体物理学に熱中している。

パイヤール室内管弦楽団との活動のほか、指揮者としても独自に活動している。サル室内管弦楽団、イソリスティ・ヴェネティ、イギリス室内管弦楽団、シアトル室内管弦楽団、セントルイス交響楽団、ロスアンゼルス室内管弦楽団、オタワ交響楽団などに加え、日本でも大阪フィルや九州交響楽団、アンサンブル金沢などのオーケストラを指揮している。

## パイヤール室内管弦楽団

1953年、ジャン=フランソワ・パイヤールによって創立されたパイヤール室内管弦楽団は、17~18世紀の音楽の復興と普及に重要な役割を果たしてきた。今日でもこの時期の音楽が彼らのプログラムの中で際だっているが、さらにバロックから20世紀にわたる幅広い作品も取り上げている。モーツァルト、シューベルト、チャイコフスキーなどの古典やロマン派の作品、ルーセル、ドビュッシー、ショスタコーヴィチなど近現代の作品もレパートリーに加え、主な弦楽作品や合唱作品はお手のものである。

指揮は創設者のジャン=フランソワ・パイヤールか、ヴァイオリン・ソリストでミュージカル・ディレクターのジェラルド・ジャリが行っている。編成は弦楽奏者12名とチェンバロ奏者のほか、プログラムにより管楽器奏者が加わる。パリをはじめフランス各地で数多くのコンサートを行っており、多くの音楽祭にも参加している。また、世界各地にツアーを行い、ベルリン・フィルハーモニー、アムステルダム・コンセルトヘボウなど世界有数のコンサートホールで演奏、世界最高の室内オーケストラとの評価を得ている。多くの優れたソリストたちとの共演も行っている。

40年を越える活動の間に300以上のディスクで600万枚以上の売上を記録、23のディスク・グランプリを獲得している。世界各地にツアーを行い、来日も今回で12回目を数える。



## ジェラルド・ジャリ

ジェラルド・ジャリは13歳でパリ国立音楽院の最高の賞である「1等賞」と「名誉賞」を受賞した。翌年、ロンティボー国際コンクールで第1位グランプリを獲得。以来、フランスの主なオーケストラとの共演や数多くのリサイタルを重ねて評価を高め、たちまちヨーロッパ各地、北アメリカ、さらには日本でもコンサートやマスタークラスを行うようになった。

1969年、パイヤール室内管弦楽団にコンサートマスターとして加わり、膨大な数のヴァイオリン・ソロの演奏と録音を行ってきた。最近では指揮活動も始めており、もちろんパイヤール室内管弦楽団も指揮している。1991年からはこのオーケストラのミュージカル・ディレクターを務めている。



## 児玉 桃

ヨーロッパで成長し、13歳の時、最年少最優秀でパリ・コンセルヴァトワールに入学。1991年ミュンヘン国際コンクール1位なしの2位に最年少で入賞。1994年アリオ音楽財団よりアリオ奨励賞を受賞。1993年ベルリン放送交響楽団と協演し、ベルリンにデビュー。1995年1月「成人の日コンサート」で小澤征爾指揮新日本フィルと協演。故タチアナ・ニコライエワ、ヴェラ・ゴルノスタエワ、マレイ・ペライアの各氏に師事。今後が大いに期待されるピアニストとして注目を集めている。パリ在住。